

【半期ディスクロージャー誌 2025】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P7

JAバンクの農業関係資金残高（訂正前）

## 地方創生・地域活性化に資する取組み

### JAバンクの農業金融

JAバンクは、JA・JA信農連・当金庫で役割分担のうえ、各種資金対応を通じて農業者の農業経営と生活をサポートしています。これまでJA・JA信農連・当金庫それぞれの農業融資担当者が農業者のもとに「出向く活動」等に注力し、幅広い資金ニーズに対応してきました。2025年3月末時点のJAバンクの農業関係資金残高は2兆261億円（うち農業者向け貸付金1兆2,325億円）、(株)日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は6,256億円となっています。

#### 資金種類別農業関係資金残高 (単位：億円)

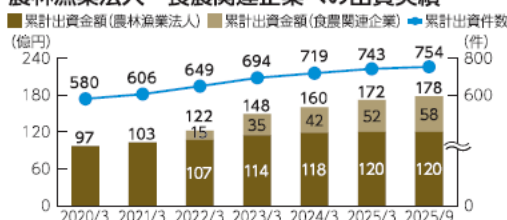
| 種類         | 2024年3月末 | 2025年3月末 |
|------------|----------|----------|
| プロパー農業資金   | 16,102   | 16,523   |
| 農業制度資金     | 3,875    | 3,738    |
| うち 農業近代化資金 | 2,066    | 2,074    |
| うち その他制度資金 | 1,808    | 1,664    |
| 合計         | 19,977   | 20,261   |

- 注1 プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。  
 注2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利融資するものが該当します。  
 注3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパース資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。  
 注4 上表に含まれる当金庫の貸出残高からは、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化支援資金等の制度資金の原資資金を除いています。

#### 農業資金の受託貸付金残高 (単位：億円)

| 種類         | 2024年3月末 | 2025年3月末 |
|------------|----------|----------|
| 日本政策金融公庫資金 | 6,357    | 6,254    |
| その他        | 1        | 2        |
| 合計         | 6,359    | 6,256    |

### アグリビジネス投資育成(株)による農林漁業法人・食農関連企業への出資実績



注1 四捨五入のため、各数値の合計が一致しない場合があります。また、食農関連企業向けの出資件数・出資額には、当金庫による一部出資の移管分が含まれます。

注2 2021年の「農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法」の施行に伴い、アグリビジネス投資育成の出資対象が従来の農業法人から、農林漁業法人・食農関連企業まで拡大しました。

### 次世代の農業経営者の育成

当金庫は、(一社)アグリフューチャー日本のメインスポンサーとして、同社団が運営する日本農業経営大学校による次世代の農業経営者の育成を後押ししています。同校では、2013年の開校以来128名が卒業し、全国で就農しています。

開校10周年の節目を迎えた2023年には「AFJ日本農業経営大学校」に校名を変更のうえ、農業経営教育のすそ野の拡大に向けて、オンラインスクールの展開を新たに開始しています。経営ステージや役割に応じた12の講座を逐年で展開しており、年間約200名が受講しています。

さらに2024年4月にはアグリビジネス領域の課題を解決し、新たな価値を創出するイノベーター人材の育成を目指す「イノベーター養成アカデミー」を開講する等、農業界への一層の貢献に挑戦しています。

【半期ディスクロージャー誌 2025】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P7

JAバンクの農業関係資金残高（訂正後）

## 地方創生・地域活性化に資する取組み

### JAバンクの農業金融

JAバンクは、JA・JA信農連・当金庫で役割分担のうえ、各種資金対応を通じて農業者の農業経営と生活をサポートしています。これまでもJA・JA信農連・当金庫それぞれの農業融資担当者が農業者のもとに「出向く活動」等に注力し、幅広い資金ニーズに対応してきました。2025年3月末時点のJAバンクの農業関係資金残高は1兆8,449億円（うち農業者向け貸付金1兆2,325億円）、(株)日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は6,256億円となっています。

#### 資金種類別農業関係資金残高 (単位：億円)

| 種類         | 2024年3月末      | 2025年3月末      |
|------------|---------------|---------------|
| プロパー農業資金   | <u>14,773</u> | <u>14,711</u> |
| 農業制度資金     | 3,875         | 3,738         |
| うち 農業近代化資金 | 2,066         | 2,074         |
| うち その他制度資金 | 1,808         | 1,664         |
| 合計         | <u>18,648</u> | <u>18,449</u> |

注1 プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

注2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利融資するものが該当します。

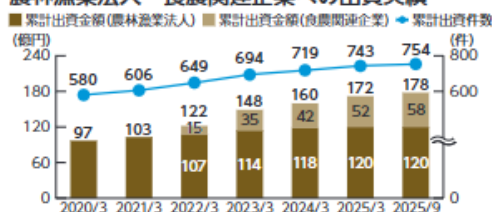
注3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパー5資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

注4 上表に含まれる当金庫の貸出残高からは、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化支援資金等の制度資金の原資資金を除いています。

#### 農業資金の受託貸付金残高 (単位：億円)

| 種類         | 2024年3月末 | 2025年3月末 |
|------------|----------|----------|
| 日本政策金融公庫資金 | 6,357    | 6,254    |
| その他        | 1        | 2        |
| 合計         | 6,359    | 6,256    |

### アグリビジネス投資育成(株)による農林漁業法人・食農関連企業への出資実績



注1 四捨五入のため、各数値の合計が一致しない場合があります。また、食農関連企業向けの出資件数・出資額には、当金庫による一部出資の移管分が含まれます。

注2 2021年の「農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法」の施行に伴い、アグリビジネス投資育成の出資対象が従来の農業法人から、農林漁業法人・食農関連企業まで拡大しました。

### 次世代の農業経営者の育成

当金庫は、(一社)アグリフューチャー日本のメインスポンサーとして、同社団が運営する日本農業経営大学校による次世代の農業経営者の育成を後押ししています。同校では、2013年の開校以来128名が卒業し、全国で就農しています。

開校10周年の節目を迎えた2023年には「AFJ日本農業経営大学校」に校名を変更のうえ、農業経営教育のすそ野の拡大に向けて、オンラインスクールの展開を新たに開始しています。経営ステージや役割に応じた12の講座を通年で展開しており、年間約200名が受講しています。

さらに2024年4月にはアグリビジネス領域の課題を解決し、新たな価値を創出するイノベーター人材の育成を目指す「イノベーター養成アカデミー」を開講する等、農業界への一層の貢献に挑戦しています。